

発刊にあたって

平成21年に、練馬区は「ともに築き 未来へつなぐ 人とみどりが輝く わがまち練馬」の実現に向け、新たな基本構想を策定いたしました。これまでの構想は、独立30周年に当たる昭和52年に策定したものであります。それから30年以上が経過する中で、区の人口は70万人を突破し、全国有数の大住宅都市へと発展を遂げました。また、区政を取り巻く社会状況も大きく変わり、区政が対応すべき様々な重要課題が生じています。この新たな「練馬区基本構想」では、概ね10年後を目標とした練馬区の目指す姿と、それを実現するための区政運営における基本姿勢を明らかにいたしました。今後は、より一層透明で開かれた区政運営を行い、区民の皆さまとともに基本構想実現のための長期計画に基づいた施策を展開してまいります。

また、区政運営の透明化を図る一環として、公文書の継承・利活用を進めております。公文書は、区政の主要な活動を跡付けるもので、区民の共有財産として将来にわたって残すべき歴史資料であることから、区政資料を、十分に管理・保存し、後世に伝えることは、区の重要な責務であります。そのため、「区政資料管理整備計画」を策定したところです。今後、この計画に基づき区政資料管理の新たな仕組みを整備し、より一層透明で開かれた区政運営を行うことで、練馬区の目指す姿の実現に努めてまいります。区民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

この「練馬区勢概要」は、平成21年度を中心に、練馬区政の動向や区のあらましについて紹介しております。現在、区が進めている施策や直面する課題を、多くの皆さまにご理解いただくことを目的として作成いたしました。区の現況を概観し、将来を展望していただき、皆さまと手を携えて未来の練馬区を築いていくための一助となりますことを願っております。

結びに当たりまして、本書の編集に際し、区内の各官公署やその他の機関から資料を提供していただくなど、多くのご協力をいただきましたことに、心より御礼申し上げます。

平成22年9月



練馬区長 志村豊志郎